

■インタビュー 築野オレオケミカルズ株式会社
研究開発本部企画開発部2部リーダー 福 和真 様

Q1. 現在の担当されている業務について、具体的にどんなことをされているのか教えてください。

玄米から生産される米ぬかや使用済みのてんぷら油から、脂肪酸というものを取り出し、それを使って各種誘導体を合成するというような製品開発をメインに行っています。

他には、既存製品の生産条件の最適化ってところの工程改善であったり、あとは代替原料の評価も行っていて、どれも他部署との協力を得ながら業務を担当しています。

Q2. リーダーとして、メンバーとの関わりで心掛けていることはありますか。

一番は信頼関係を築くことを心がけています。その上で、コミュニケーションを一番大事だと考えています。日常的な会話も話したりしてしまして、そうすることで、相談しやすい雰囲気づくりができるかなと思っています。それが結果的に業務の効率化とかにも図っていくのではないかなと思います。そういうことを一番に心がけています。

Q3. 築野オレオケミカルズならではの“研究開発”の面白さや難しさはどんなところにあると思いますか。

築野オレオケミカルズならではのというところでいくと、本来捨てられてしまうようなところも有効利用して、付加価値をつけて製品開発をしているってところですかね。これが今、サステナブルとか SDGs っていう時代の流れに沿った事業なんじゃないかなってところが、一番面白いと感じています。ただ、そういうところで有効利用の仕方であったり、どういうふうに、付加価値を付けていくかっていうところは、なかなか難しいところでもあったりするので、日々悩みながら業務をしているってところなんです。

Q4. 2020 年にご入社とのことですが、入社のきっかけや決め手になったエピソードがあれば教えてください。

私自身、有機合成というのを学生時代からメインに研究していました。有機合成ができるメーカーさんというのを探していた中で当社と出会いました。実際、実験室とか分析室とかを見学させていただいて、すごく豊富な種類の分析機器を持っているというところが、今でも一番印象に残っています。本来捨てられてしまうようなところから、有効利用していくってところで、工業製品や化粧品という分野で、普段目にするようなものとか、手にするようなものも作られているというところに自分が加わって、開発していきたいなっていう思いがあり、入社をさせていただくきっかけとなりました。

Q5. 製造現場の方々とコミュニケーションをとる上で、特に気をつけていることや工夫していることはありますか。

相手の立場になって物事を考えるというところを、一番に意識しています。その上で、コミュニケーションが一番大事だと認識しているのですが、現場の方々と話すときにも、基本的には現場に行っ

て、何が起きているかというのを確認するという。また、現場の方々に指示を出すときとかもあるのですが、そういう時でも、専門的な技術的な言葉というのは、だいたい使わないようにして、現場の方々に伝わるような言い回し、言葉の使い方で伝えるように、というのを意識しています。

Q6. 企画や研究のアイデアが実際の製品になっていく過程で、やりがいを感じる瞬間を教えてください。

実験室で、小さいスケールで、製品開発していたものが、ユーザーさんに評価をいただいて、採用いただいたときっていうのが、一番やりがいを感じますし、そういう製品っていうのは、自分自身でも愛着っていうのが湧いてきますね。

Q7. 仕事の中で大変だったことや、逆に乗り越えてよかったなと思える経験はありますか。

研究・開発業務っていうのは、日々自分の思い通りにいかないことが多くて、そういう時がやっぱり一番悩むところでもあります。原因を考えるのも少し楽しく思います。原因を考察して、自分の思っている通りに物事がなった時には、課題を乗り越えた瞬間でもあるので、そういう時はすごい達成感というか、やりがいを感じることができます。

Q8. 今後、研究開発でチャレンジしてみたいテーマや、築野オレオケミカルズとして目指したいことはありますか。

築野オレオケミカルズでは、各種誘導体の元となる「出発原料」というものを、実際製品として数多く生産しています。私は自社原料を使って各種誘導体を作って、付加価値をつけていくっていうような製品開発をもっとしていきたいなと思っています。そして、やっぱり築野といえば「つの食品」であって、「こめ油」というイメージが多いと思います。我々の築野オレオケミカルズとしては、そこにこだわっていて、工業用途でもしっかり発展しているのだということを周りの皆さんに感じてもらえるように、目指していきたいと思っています。

Q9. ご自身の学生時代についてですが、どんな分野を学んでこられたのか教えていただけますか。

学生時代も有機合成を、メインに研究しておりました。特に天然に存在する医薬品の化合物っていうものがあるのですが、それを実際人の手で有機合成していくっていうのを、メインに研究していました。

Q10. 学生の私たちに向けて、会社や研究開発の仕事の魅力、メッセージがあればお願いします。

今後就職活動をされていく中で、自分が本当にやりたいことは何なのか、みたいなところをちょっと考えていただければなと思っています。その中で研究開発は日々トライアンドエラーというか、うまくいかない事が多いのですが、その分すごく達成感がある仕事業務なので、そういうところに興味を持っていただけたらなと思っています。

福様 本日はいろいろ教えていただき、ありがとうございました。